

「東京都MICE誘致戦略（案）」に対する意見募集の結果

東京都は、令和4年12月21日（水曜日）に「東京都MICE誘致戦略（案）」を発表し、東京都ホームページへの掲載等を通じて、広く都民の皆様のご意見を募集しました。貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。

ここでは、お寄せいただいた主なご意見の概要と、それに対する東京都の考え方を紹介させていただきます。

1 意見募集の期間と件数

- 募集期間
令和4年12月21日（水曜日）から令和5年1月19日（木曜日）まで
- 意見件数
28件

2 主なご意見と東京都の考え方

ご意見（概要）	東京都の考え方
第2章 東京のMICEを取り巻く環境	
KG I達成においてバーチャルもしくはハイブリッドでの開催を推進した場合、第1章で記載されているMICEの「高い経済波及効果」や「産業力の強化」が限定的となるが、どのように考えているか示してほしい。	デジタル技術を活用して会議等の運営の効率化や多様な人々が参加可能な環境を整え、MICE開催都市としての付加価値を向上することで、MICEの開催が東京にもたらす効果を高めてまいります。
第3章 戦略	
国際会議以外のM・I・Eに関する定量指標（KG I）は定めないのか。また、6つのKPIがどうKG I達成に繋がるかが不明である。各事業プロセスを可視化（定量化）し、数式でKPIがKG Iに繋がっている事を示すべきである。	本戦略で定めた管理指標はもとより様々な施策の効果検証を行いながら、より効果の高い施策を展開できるよう取り組んでまいります。
戦略1 グローバル対応の集中的な強化による誘致推進	
戦略1のために、外国語を話し、外国人と交流及びサービスの提供ができる人材を育成すべき。 例えば、外国人に人気の観光地で、学生に実際に案内をさせてみる等の支援はどうか。	国際会議において参加者への高いホスピタリティを提供するため、ボランティア向けの研修を行い、実際の会議に派遣する取組を行っております。引き続きこうした取組を進め、MICEに関わる人材の育成を図ってまいります。
日本では国内大型宴会と比べて低単価の国際会議誘致について、ホテルやコンベンションホールへのメリットを明確にできればより促進できると感じている。そのために、戦略1「より効果の高いマーケティング力の強化」を、内向きにも展開できないか。また、都内のMICE受入環境整備をエリア毎、施設毎ではなく、包括的にルール化できないか。	国をはじめMICEに関連する業界団体や事業者、地域団体等で構成する東京都MICE連携推進協議会を設置し、MICE誘致に向けた情報交換などを行い、一体的に誘致を促進するための取組を進めております。引き続き、関係者との連携を促進してまいります。

戦略2 多様なポテンシャルを活かしたMICE開催効果の最大化	
ユニークベニユーの活用のため、当該ユニークベニユーでのMICE開催時に当該地域の有名な食べ物や特産物の提供が有効と考える。	都内の施設管理者向けにユニークベニユーとしての活用に必要な設備等にかかる経費への助成を行っております。今後は地域の事業者、住民及びユニークベニユー等が一体となって地域の特色を活かしたMICEの受入環境づくりを進められるよう支援を充実してまいります。
潜在的なユニークベニユー所有者に対し、もっとアプローチすべきである。	ユニークベニユーの効果的な活用方法などをショーケースイベントや専用のウェブサイトを通じて情報発信しております。また、都内の施設管理者向けにユニークベニユーとしての活用に必要な設備等にかかる経費への助成を行っており、引き続き魅力的なユニークベニユーの磨き上げに取り組んでまいります。
戦略3 デジタル技術の活用促進によるMICEの付加価値向上	
MICEによる観光業の回復とMICEのデジタル化はどのように共存させるのか。目標達成に向けた戦略にデジタル技術の活用とあり、これは都内産業の回復につながるのか疑問に感じた。	MICE開催による経済波及効果はコロナ禍で厳しい状況にある都内観光産業の早期回復を後押しするものとして有効である一方、中長期的な視点では人手不足や多様性との調和といった課題に対応するため、デジタル技術を活用した会議等の運営の効率化などを進め、持続可能なMICEの誘致の実現に向け取り組んでまいります。
デジタル技術は特に進歩の早い分野なので、タイムリーに情報がアップデートできるような環境整備も重要と考える。	MICEの主催者や関連施設におけるデジタル技術の導入を促進するため、「TOKYO MICEテクノロジー導入ガイドライン」を作成しました。今後はガイドラインの内容を更に充実させながら、効果的なデジタル技術の活用につなげてまいります。
戦略4 多様な主体や地域との連携推進	
国際都市東京にとって、グローバルビジネスの核となるMICEには、大学、専門学校等と共同した積極的なMICE推進施策が必要である。	国際会議を誘致するうえで主体的な役割を担う大学の教授等に対し、国際会議の誘致から開催における様々な支援メニューを紹介することで国際会議の誘致に向けた取組を促進しております。
街全体や地域住民が一体となって、街ぐるみで来場者を歓迎する機運を盛り上げる形が強い魅力になる。海外の見本市にて、東京固有の文化・特質について強くアピールすることも大事である。特に海外からの来場者が興味を持つ題材について、東京と日本の地方都市などとの連携を強めること。 主催者支援だけでなく地域ぐるみのMICE誘致開催のために、現場である受け入れ組織（DMO・エリアマネジメント団体など）のユニークベニユー、ユニークイベントなどのコンテンツ開発活動に対する補助が必要である。	都内の会議場やホテル等のMICE関連施設が集積しているエリアを指定し、各エリアにおけるMICEの受入環境整備に向けた取組を支援しております。今後はDMO等を中心とし、地域の事業者や住民が一体となって地域の特色を活かしたコンテンツの開発などMICEの受入環境づくりを進めるための支援を充実させてまいります。
「日本への誘致」の中で「東京への誘致」が決まることから、オールジャパンの表現は重要である。国内他県、他都市との連携において、誘致活動の競争力が高まる魅力的なコンテンツを開発するなど強力な支援を行うべきと考える。	国内周遊型の報奨・研修旅行の誘致や国際会議・企業系会議の参加者におけるブレジャーへのニーズに対応するため、国内他都市と共同でプロモーションを実施するなど、東京から他都市への送客に向け引き続き取り組んでまいります。

戦略5 環境に配慮した社会づくりに資するMICEの推進	
経済効果・環境配慮から、提供するサービス及び製品は日本製、出来れば都内生産の方がよい。また、多様性・環境配慮から、ヴィーガン食・ベジタリアン食の提供を促進すべき。	2019年3月に策定した「TOKYO MICE サステナビリティガイドライン」をもとに、地産地消など持続可能なMICE開催都市の実現に向けて取り組んでまいります。
MICE開催におけるCO ₂ 排出量を予測するツールについて、どのようなツールでどう活用されるのか。現状では、ニュース報道されるような国際会議以外は、都民の方の目に触れることがない。MICEの開催意義を都民の方に理解いただきMICEが東京都にどのような貢献しているかを知っていただくことが、都民であることの誇りをより感じていただく機会の増加につながるのではないのでしょうか。	MICE開催によるCO ₂ 排出量を予測するツールを活用し、主催者などにおける排出量削減に向けた意識啓発を図ってまいります。また、シンポジウム等の機会を通じて、環境に配慮した東京でのMICE開催への理解を深めていく取組を進めてまいります。
その他のご意見	
現況分析と、そこから導かれる対応の検討が不十分である。そのため、有効な施策を十分に提案できていない。調査の充実が必要である。また、具体的な施策展開が具体的でない。手段やターゲット等が示されていない。加えて、KPI設定の妥当性が不明である。	いただいたご意見も踏まえ、海外の動向などを調査・分析し、より効果的な施策となるよう取り組んでまいります。
ゲームの一大聖地テーマパークを作って、会議などMICEに役立ててはどうか。	東京の魅力的な文化や観光資源などを活用し、東京へのMICE誘致を推進してまいります。
MICEに気軽に参加できれば、学びを得られる機会になる上、それぞれの分野に関する専門の知識がなくても、課題に対して目を向けるきっかけとなる。また、若い世代へのアプローチに繋がる。海外から参加する方々との交流を行えることは、多様性を尊重し異文化を学べる貴重な機会であり、そのイベントでしか得られない経験は、将来に役立てることができる。地元で大きなイベントが開催されると、盛り上がりを感じられ、誇りに思えるため、この戦略の実現を心待ちにしている。	東京都MICE連携推進協議会や地域とも連携しながら、都民や事業者向けのシンポジウム等の機会を通じてMICE開催の意義等への理解を深めるための取組を行っております。また、DMO等を中心とし、地域の事業者や住民が一体となったMICEの受入環境づくりを進めるための支援を充実させてまいります。
東京でのMICE開催需要は高いと思われるが、受入施設側の考え方、実務に通じる国際MICE人材の育成が中長期に東京におけるMICEの安定成長に重要と考えている。	MICEの受入環境を一層充実するため、都内のMICE関連施設における機能強化に必要な設備の導入に要する経費を助成しております。また、都内のMICE関連事業者向けに、誘致活動に必要な実務的なスキルの向上を図るため、世界的なトレンドを捉えたテーマをもとに、基礎と実践に分けたきめ細かな人材の育成を行っております。
主催者側と会場側の両面への支援がより効果(競争力)を高めると考える。特に中小規模の会場所有者への具体的な支援策があっても良い。	MICEの主催者等に対する誘致や開催における支援などを提供するとともに、MICE誘致に積極的な都内のMICE関連施設に対し、国際的なMICEの受入に必要な設備等の機能強化に向けた取組を支援しております。
誘致を実施するためのPR予算が不足していることから、東京都による助成制度の制定を要望したい。	都内のMICE関連事業者と連携し、ALLTOKYOの体制で海外見本市へ出展することで、海外の主催者等とのネットワーク強化や東京の魅力を効果的にPRしております。
人材育成について、スキル取得後、業界や所属先でどのようなキャリアパスが描けるのか、どう活かせるのかといった、方針の提示や公的な資格制度の必要性を感じる。	都内のMICE関連事業者の誘致活動に必要な実務的なスキルの向上を図るため、世界的なトレンドを捉えたテーマをもとに、基礎と実践に分けたきめ細かな人材育成を行うとともに、国をはじめMICEに関連する業界団体や事業者、地域団体等で構成する東京都MICE連携推進協議会を通じた情報交換などを行っております。